

2014年4月17日

日本銀行大阪支店

## 近畿地域金融経済概況

### 【全体感】

近畿地域の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調としては緩やかに回復している。

すなわち、個人消費および住宅投資は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、雇用・所得環境などが改善するもとで、基調としては堅調に推移しているとみられる。輸出は、横ばい圏内にあるが、設備投資は緩やかに増加しており、公共投資は高水準で推移している。こうしたもとで、生産は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動から減産の動きもみられるが、基調としては堅調に推移しているとみられる。この間、在庫は減少しているとみられる。雇用情勢も改善の動きが強まっている。こうした中、企業の業況感は、引き続き改善している。

先行きについては、海外経済、為替相場や金融市場、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などに注視が必要である。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、横ばい圏内にある。

設備投資は、緩やかに増加している。

個人消費は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、雇用・所得環境などが改善するもとで、基調としては堅調に推移しているとみられる。

2月の百貨店販売額は、高額品を中心に堅調に推移している。2月のスーパー販売額は、全体として横ばい圏内で推移している。2月の家電販売額は、増加している。3月の乗用車販売は、増加している。2月の外食売上高は、持ち直している。

1月の旅行取扱額は、海外を中心に前年を下回っている。

住宅投資は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調としては堅調に推移しているとみられる。

## 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動から減産の動きもみられるが、基調としては堅調に推移しているとみられる。この間、在庫は減少しているとみられる。

生産を業種別にみると、輸送機械や白物家電などの電気機械が、駆け込み需要の反動から減産している。一方、電子部品・デバイスはスマートフォン新製品向けの生産から持ち直しに転じつつある。この間、鉄鋼や化学は公共投資などの下支えもあり、全体としては底堅く推移している。

## 3. 雇用・所得動向

雇用情勢をみると、労働需給は改善の動きが強まっている。こうしたもとで、雇用者所得も改善の動きが明確化してきている。

## 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、1%台半ばで推移している。

## 5. 企業倒産

企業倒産は、総じて落ち着いた動きとなっている。

## 6. 金融情勢

預金残高は、このところ伸び率が幾分縮小しているが、緩やかに増加している。

貸出残高は、住宅ローンの増加などを背景に前年を上回っている。

預金金利は、低水準横ばい圏内で推移している。

貸出金利は、小幅ながら低下している。

以 上